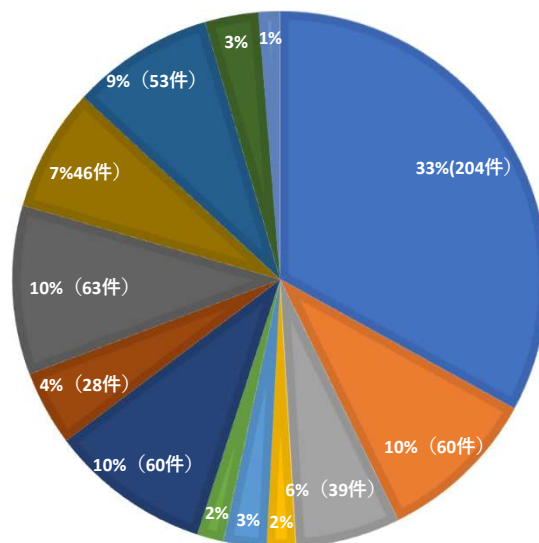


市内小学校の再編整備に関するアンケート調査の結果について

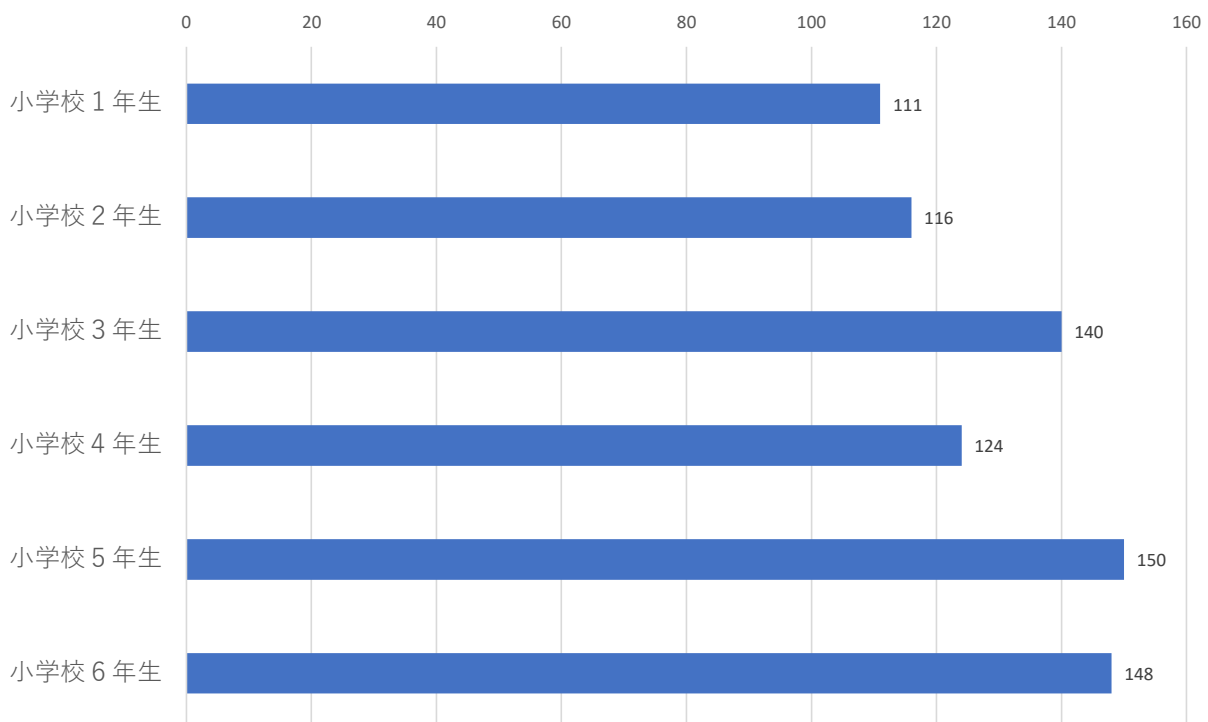
(小学生の全保護者対象 1 世帯 1 回答家庭数 8 5 4 件)

問 1 お子様の通学している小学校を教えてください。

■ 塩山南小学校 ■ 塩山北小学校 ■ 奥野田小学校 ■ 大藤小学校 ■ 神金小学校
■ 玉宮小学校 ■ 松里小学校 ■ 井尻小学校 ■ 勝沼小学校 ■ 祝小学校
■ 東雲小学校 ■ 菱山小学校 ■ 大和小学校

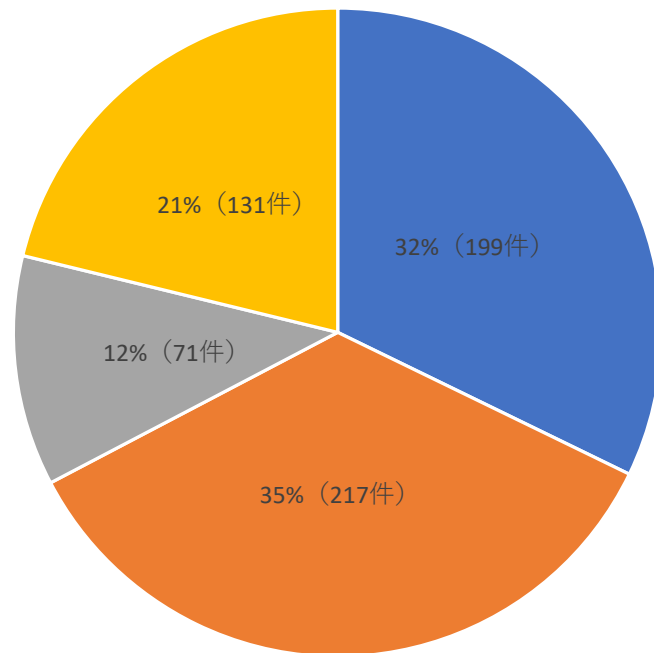


問 2 お子様の学年を教えてください。



問3

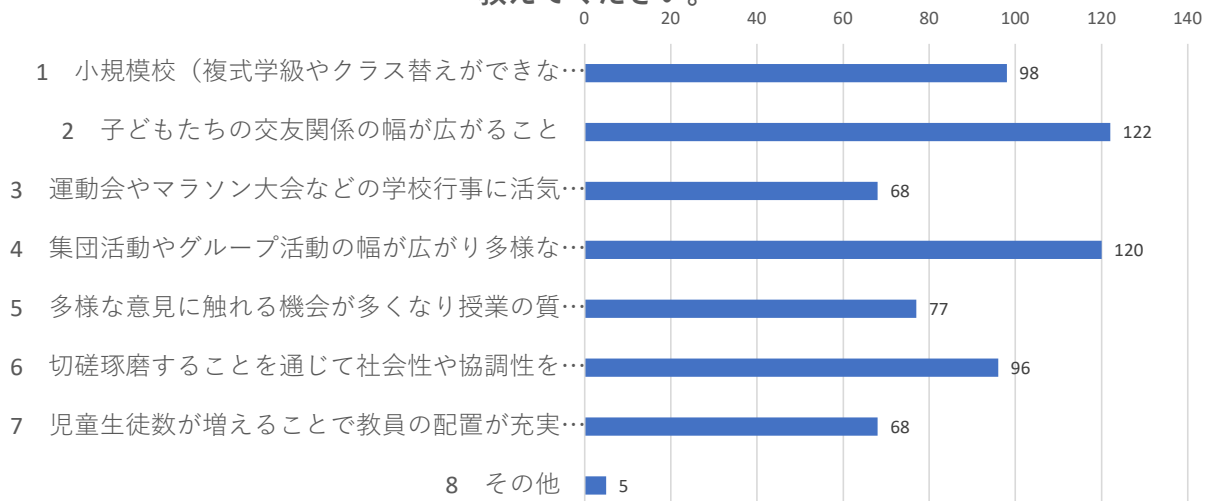
小学校の再編整備についてお考えを教えてください。



■ 全小学校で再編を検討すべき ■ 段階的に再編を検討すべき
■ 小学校の再編整備は必要ない ■ わからない

問3-1 今後、進めることで期待できること（特に期待できること3点）を

教えてください。



※その他

①なし。 これらの項目はどのどのような学校でも出来る。正直再編しないといけないのはわかるがメリットは感じていない。子ども達が次年度からはこの学校無くなるから来ないで。他の学校行って下さい。と言われる子ども達へのアナウンスとメンタル指導を全校生徒、各生徒に行うくらい子ども達を守るための策を同時に進めて行った方が良いと思います。

②教員の人員不足解消につながる。

③勝沼町などの、市の観光や産業拠点となる地域の保全

問3-2 具体的な時期を教えてください。

5年以内

5年後

わからない

3年後

わかりません

10年後

5～6年後

検討を始めた翌年では間に合わないでしょうから2年後など

すぐにでも

5年ごとに検討

急にいっぺんにではなく、初めはこの学校とこの学校、1年位を様子見で

学年が上がる時期

未定だが、通学補助など課題がクリア出来次第

全ての学年で学年1クラスができなくなったら

そのときの人数に応じて

極端に児童が少なくなった学校が明らかになった時期

もう少し人数が減った後

4年後

複式学級が年々増加すると推測される頃

3～5年くらいから段階的に検討していくといいかなと思います

早めに

なるべく早く

なし

必要であればいつでも

地域住民よりも子供達を学校に通わせる保護者達の意見、現在各学校に通わせている保護者達・

子供達にちゃんと説明ができ納得できるようになったら。

複式学級が学校数の過半数を超える前までに

おまかせします。

令和13年までに

複数学級が全小学校の半数を超えると予想されるタイミング

北小、南小、奥野田小の児童数がもう少し減少したら考えた方が良いでしょう。

全校生徒が50名を下まわったら

再来年の入学児童を基準(来年からでは間に合わない可能性がありそう)

新学年のスタート時に合わせて

男女複数名が維持できなくなったら再編すべき

ひと学年10人以下になりそうな頃に

時期まではわからない

1から2年以内

5年後には方針が決まっているくらいの時期

2036年4月

概ね令和9年4月頃から検討

複式学級になる前

分かるわけがないでしょう

・保護者への十分な説明・通学方法や安全対策の具体的な提示

・子どもたちへの配慮や環境づくり などを行い、不安の軽減や理解を得る期間を設けたうえで進めるのが望ましいと思います。

目安としては、説明や準備期間として少なくとも1～2年程度は必要ではないかと考えます
5年後の予測を頼りに5年後に一度目の再編を行ってみるのはどうでしょうか。

令和12年度

なるべく早く、無理のない範囲でとしか言えない。どのくらいの期間が掛かるか不明なため

令和13年度

児童数の少ない学校においては、すぐにでも検討してよいと思います

1年に1回

5年以内

一学年10人未満となる時期

準備が出来次第早め

数年

特になし。

3年後くらいに再編を検討すべき

5年後には合併することを前提に、第一段階の再編を考えていく。

5年周期

無くなる方の小学校の大半の保護者が望む時

再編にむけての議論は今から

市内児童数が1,000人を割り込む見込みのR11

3,4年後

R13

長期休み

勝沼地区についてはすぐにでも検討すべき

小規模小学校から徐々に

早目に

十年後

児童数が少ない地域はもう始めても良いと思う。数年かかると思うので。

R10年ごろ

時期は問わないが、今は必要な所で再編を行い、そこから出てくる課題を元に修正しながら、少しずつ広めて行くのがいいのではないかな。

令和18年

3年後を目処に

なるべく早めに

人数が激減する際には検討

複式学級になる前

再編時期は10年後など長期的なスパンで検討してほしいです。

令和13年

各学校の児童数が現状の2割減になった頃から

わからない

来年

年々子どもの数が減っているという現状からここ数年で考えていく。

今すぐにでも

児童が明らかに減少した時期

時期ではなく、5年後に少数の小学校ずつなど

できるだけ早く

準備でき次第速やかに

すぐに

2027年4月より

今年度から少しずつ

2～3年

生徒数が減っているところから統合を考えていくといいと思う

話し合いをして通学手段や体育着等の決まり事の整備が整ったら

有識者で優先順位をご検討いただき、無理のないスケジュールで早め早めにご対応頂くことが望ましいと考えます

現在神金地区は移住者の定住が増えていると思います。身近で未就学児のお子さんもいるのでしばらくは再編の必要はないと思っています。

アンケートをして、集まった段階

スクールバスや学童の整備など放課後の受け皿を確実にし、保護者学校間相互の安全性を確保できる時期。

再編検討を要望する声に応じて。時間をかけることなので、今年度からでも良いのでは？

学年ごとにクラスを作らなくなったら

2028年4月から

年々児童も少なくなっているので、時期はまだ分からないが早い段階の方がいいかと思います。

クラス替えがないので、新しい友達もできない

全校生徒数が20人程度以下になるような学校が散見されるようになったら。

R15年

ひとクラスが5人以下くらいになると少ないかなと

今年度から。

1クラス10人以下になる際

検討はすぐにすべきだと思う

複式学級がある学校が隣り合った段階

時期はなんとも言えませんが、少数校から検討すべきと思います。

早急に判断しないで欲しです

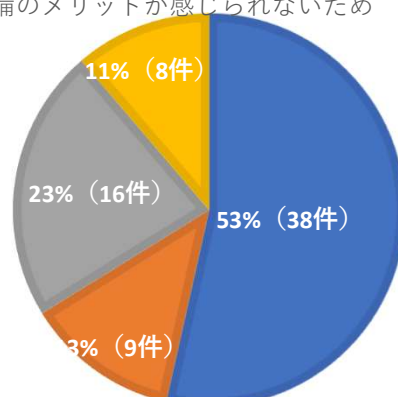
地域性と児童数の推移による

数年かけて段階的に

地域の同意があるなら

問 3 - 3 問 3 で「3 小学校の再編整備は必要ない」を選択した方具体的な理由について近いものを教えてください。

- 現在の教育環境に問題を生じていないと思うため
- 地区の学校がなくなることが寂しいため
- 再編整備のメリットが感じられないため
- その他



その他

少人数クラスの方が担任教師の目が行き届いて良い。編成して学校全体の人数が増えることも、一校の人数が増えすぎることに不安を感じる。

教員数が足りなくなるのは、おとなの都合で、児童には関係ない。教員数を確保するのは、各教育委員会の仕事。財源は議員の仕事。まずは、大人がきちんとする必要があるから。

地域の子どもは地域で育てる、地域の手で見守るというのが大前提だとも思います。

徒歩圏内でなくなると通学が困難なため

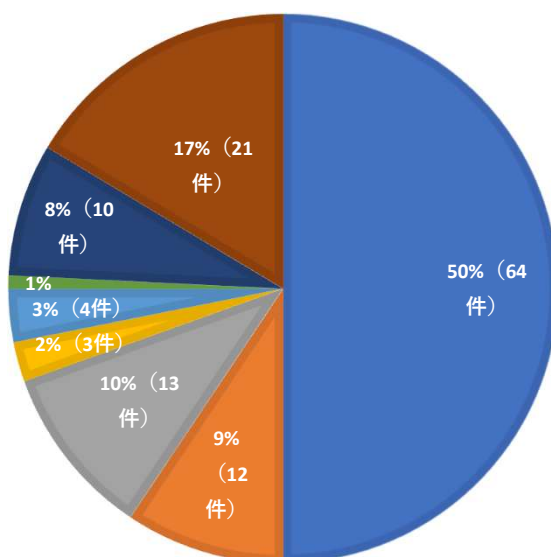
中学校の再編とは全く違い、地域に小学校があり、地域の小学校に通うことが大事である。何が大事かという
と学校まで歩いて行って歩いて帰ってくる、地域を歩く、地域の人と顔を合わす。小学校区で地域の特色を踏
通学困難な生徒が発生してしまう。親が大変になる。

中学校の統廃合と小学校の統廃合は意味合いが違う。小学校は保育の延長にあるという理解のため
過疎化が進む

問4 小学校の再編整備について、特に配慮してほしい点を教えてください。

※問3で「3 小学校の再編整備は必要ない」と回答した方は回答不要です。

- 遠距離となった場合の通学手段（スクールバスの手配）
- 教員の配置（統合前の教員の継続配置）
- 学校の施設整備（教育環境の充実）
- 一定の規模（児童数及び学級数）の確保
- 学校の跡地利活用
- 地域や自治会を分断しない
- 体操服など統一学用品の取扱い
- 特にない



問5 その他、学校再編整備についてご意見ご要望を自由に記入してください。

- ・塩山南小学校は今のままで良いです。
 - ・学校が離れることでの、保護者負担や資金面の負担も検討材料に入れて欲しい
 - ・南小については再編整備はあまりとないと思ってる。だけど他の小学校は少子化の為、段階的に再編していくべきではないのかなと思う。
 - ・さまざま表示されたデメリットは、ほとんどが大人の都合でしかない、と感じられた。子どもファーストで考えてほしい。
 - ・子ども達が、将来、社会に出るためには、小規模の関わりではなく、人数が多いところでたくさんの人や友達と関わり、刺激を多く受けて、色々と学び、考え、悩んでいくことが必要のように感じます。
 - ・中学校でもバスが活用されているので小学校でも合併等、検討してもよいのかと思います。また、スポ少に関わっていますが、小さい学校の子供たちはコミュニケーションの取り方がまだわからない子が多く、単体行動の多さが見受けられます。集団での行動の仕方や上の学年、下の学年の関わり方、だんだんと年齢も重ねて行くと新しい場所に踏み込むことも躊躇してしまう子も多いので、小さいうちから沢山のひとたちと触れ合い、色々な考えの中で生活して欲しいです。また現代社会でのコミュニケーションツールがメディア頼りになっているので、実際に対面でコミュニケーションが取れる環境にもなって欲しいなと思います。
 - ・再編は必要と考えるが、デメリットな面もあるので慎重に検討する必要があると思う。
 - ・子供を産む世代の誘致・家を建てようとしている世代の誘致を進めた方がいい。住みやすい市を作り上げる必要がある。これだけチェーン店が集まり始めたのだから自然も兼ね備えたコンパクトシティを目指したら学校に通う子供も増えるだろう。(甲府に行かなくても甲州市で完結するような小規模デパートなど)
 - ・少人数の小学校卒の子供が中学校になって急に大人数になることに対応できず不登校になる子もいると聞いたので、最低でも100人はいる中での生活に早くから慣れた方が良く考えています。
 - ・子どもたちがどうしたいか、という気持ちを大事にして決めていってほしい
 - ・教員の数
 - ・少人数制のいい点もあるとは思いますが、公立では特色のある学校づくりには限界もあり、そこを求めて各地から子育て世帯が集まるということにもならないと思うので、それであれば体験や競争などを規模が少し大きい学校で経験しながら育った方がいい気がします。
 - ・適宜学校再編整備で統合縮小は、やむ無しと思われるが、ただ再編備をして行けば良いと言う事ではなく。移住者・定住者や地方創生を活発にしていける市全体での取り組みで若年層の、底上げをしないと、最終的に甲州市の学校は存続すら危うくなりませんか？
- また、使われなくなった学校建物の画期的な活用法も同時に問われます。
- 甲州独自の農業学校や、農業体験者の宿泊可能な大型施設にしようとか、大菩薩周辺はアーティストに人気があるので作家向け工房として解放するなどして、廃校を活用しつつ移住者を誘致するなど…素人ながら甲州市が盛り上がったなら良いなと思っています。
- ・少子化が進むにあたり再編は必要不可欠だと思います。地域の方の意見で思い出の学校を残してほしいということもあると思いますが、第一に未来の子どものための意見が尊重されてほしいです。
 - ・学校を維持する経費削減、子どもの学びや経験のため、複式学級になる学校は統合した方がいいと思います。統合した場合は送迎や利用できる学童保育など保護者負担が多くならないようにして欲しいです。
 - ・特になし
 - ・全校ではなく、2校か3校にしても良いと思います。

・クラスの生徒が少なく主導権を握るリーダー的存在の質が低いじめ等に繋がっている現状がある事を耳にしておりとても心配している。人口の減少は長期的に続くとの見方があるのであれば、早期に合併等するべきだと考えます。

・どのようにすることが、ベストなのかかわからないですが、統合することもよいけれど、少ない人数できめ細やかに勉強等をフォローしてもらうことも良いのかもしれないし、多くの意見を聞いて学ぶこともよいだろうとも思う。また、子供の時期は基礎体力をつける時期にもなるので、安易にスクールバスはいかがなものかとおもう反面、昨今の環境を考えると、歩くのもかわいそうなくらい暑いし、荷物も重たいしバスでの登校も検討する必要もあるのかもしれないと思います。なので、どうすることがよいのか分らないです。

・登下校の体制整備なしには推し進められないと感じている。
・まず一校やってみて、良い点悪い点を踏まえ次に進めば良いかと。
・児童数が減っていく中で、再編は確実に必要だと思います。子供達が質の良い教育を受けるためにも早い対応を望みます。
・少人数学級だと中学などにいった時に人数の多い環境に慣れるのが大変だから小学校の再編整備をしていった方がよい。
・スクールバスなどを充実させれば多少自宅より遠くなっても通いやすいと考えます。

・教員確保や負担軽減を考えると再編はプラスだと思います
・教員不足の現状で、児童数もこれだけの減少が見られるなか、学級運営においても再編の必要性があるとかんがえる。少人数学級も手厚くみてもらえるメリットもあるが、やはり社会性を育てていくにはあまりに狭すぎるコミュニティ。中学、高校では2倍3倍それ以上の規模になるので、適応していくのにも時間がかかるのではないかと。親としては切磋琢磨の環境も積極的に与えていきたい。

・合併し、少人数クラスをたくさん作る方がそれぞれのメリット、デメリットを活かせると思う。教員不足解消などにもつながるのではないかと。

・子どもたちが楽しく過ごせる学校作りをお願いしたい。
・児童の通学の危険性、通学に対しての親の金銭負担、財政が厳しいので有れば、市議や職員の給料、人数を減らすべき。

・特になし
・子どもの減少は顕著ですが、何十年も前からクラス替えがない単級の学校は多くあったとおもいます。
複式学級が増えることは課題であり、検討していくことだと思いますが、クラス替えがないことを課題と考えるのは今頃？という感じがします。

・修学旅行の費用などが高くなっているため合併が必要と感じる
・小学校が多すぎる
・通学が難しい
・各家庭に負担の無いように進めて頂きたいと思います。
・統合していったほうが良いとは思いますが、少人数での学校生活を望む子どもがいるのであれば、様々な選択肢がある方がよいだろうとも思います。

・中学校が統合され、小学校が統合されると、地域に教育機関がなくなり、地域の存立にも危うくなるため、地域の実情を十分に考慮して、丁寧に進めてほしい。

・少人数にはそれなりに良さもあると思うが、通学など環境が整っているなら、見直すべきだと思う。少子化が進む中でも以降20年は続く母体が必要だと思います

・少人数では学校全体で仲が良く、先生方も良く目を配っていただいているとても嬉しく助かっています。しかし先生の人数が減少してる中でそれも大変になってくると思うので再編整備は必要だと思います。

・屋外プールは日焼け、熱中症などの事を考えると使用するのはいかがでしょうかと思います。
また、いくら清掃しているとはいえ、虫が水中に浮いていたり、その中を泳ぐのも衛生的にどうなのかと思います。

・複数クラスある、1学級、編成クラス等多様な状況ではありますが、個人的には統合は必須ではないと思っています。
ただ、仮に子供本人の体質・精神的に学校が合わないとなった時に転校等の選択肢がもてると嬉しいと考えます。
先生方のご負担もあるかと思いますが、実現可能であればの意見となります。

・人数が少ない分、学年を越えて親交が深まり、先生の日も全員に意気届いていいなと感じています。
・しかし、行事等が十分に行えなかったり、人間関係悪化によるクラス替えができない点が心配です。
・益々人数減少が見込まれる現状から、段階的に再編整備が進むことを期待します。

・学校の生徒数が偏っています。
・特に塩山南と北のバランスが悪い。
・学区の再編成が必要だと考えます。
・前回の中学校の統合の際も感じたが、現時点での子育て世帯の意見を重視して欲しい。

・地域の伝統などは正直関係ないので、子ども第一で考えて欲しい。
・塩山中統合の時にもめたように地域住民の意見尊重ではなく、学校に通わせる保護者と子供達の意見を尊重してもらいたい！

・どこの学校をなくし、どこに統合するとかどうやって決めるのでしょうか。
どこの地域も小学校は失いたくないのでめっちゃ荒れると思います。
この前、神金小の6年生を送る会を見たが小規模校の良さが詰まっていたとても良い会であった。

小規模校としてその良さを生かすことで子供たち一人一人が輝くし、大規模でも同じだと思う。

教育においては人数とか費用とかは意識せずに無理に再編する必要はないと思う。

・総教員数が減少している点、児童数も減少している中で、再編は急務である。
・特別な支援を必要としている子どもが増えている中、小規模校を全て無くしてしまうのではなく、残しておくことも必要だと思います。
・少人数クラスですと、学びの機会が減ると感じる
・学校の伝統等も大切なのはわかりますが、いま通っている、これから通う子供達にとっていい環境を提供できるように考えていきたいです。
・再編整備をしても、子どもひとりひとりに目を配っていただけるようなクラス編成にしていけたら嬉しいです。

あくまで想像でお伝えしますが、

・登下校方法は？
・授業参観や運動会等で保護者が集まる時に駐車場などの確保は？

今は近いので歩いていきましたが。

・統合が進むと地元の魅力がなくなり、私立への流出が考えられそうです。
・教職員の先生方のご負担は増えるのか、それとも減るのか？

・保育園や幼稚園から小学生になることは、子供にとって慣れるまでかなり負担がかかります。全校生徒が一桁近くになるようなら、メリットも無くなる気がします、少人数の良さは絶対あると思います。同じ地域に住む共通点のある子供が集う場所であってほしいです。

・人数が少なくても、地域の学校で、地域の方との関わりを大事にしてほしい。

少人数ならではの、良さを子供たちに感じてほしい。

あと5年～10年は今のままでいいのではないかな。

あたたかい繋がりがあつこの地域なら、可能だと思う。

・近場の小学校は統合してもいいと思うが、スクールバスなどの完備を徹底してほしいと思います。

・スクールバス等の交通手段をしっかり整えてもらいたい。

・可能であれば、再編や合併はせず、地元の小学校に行かせたい。少人数でも、でも、残念ながら、それが難しくなるのであれば、子供には、新体制の中で対応する能力を養ってほしい。そのために、メンタルのフォローなど、教育的観点からカウンセラーなどフォローが必要だと思う。

・小学校ごとの歴史があるので、簡単に再編整備はしない方が良いと思います。
・クラスが合わない、またはいじめによる不登校などの場合に、お試して少人数の他の学校にうつる…または、統合前に合同で行事などをするなど、そういうのを担うコーディネーターみたいな人が何人かいればいいのかも知れないです。
・一刻も早く小学校再編をすべき
・むやみに統合するのではなく、通っている児童の気持ちを考慮しながら進めてほしい。

・神金小、玉宮小、大藤小は非常に児童数が少なく、学校からの距離が近いので、神金玉宮の2校を廃校とし大藤小にまとめるべき。

理由は、大藤小から、神金小と玉宮小は車で5分程度の極めて近距離のため、大藤小にまとめ2校を廃校としても、スクールバスで十分対応できること、また、学童に親が迎えに行く際も、5分程度と親の負担が極めて小さい。廃校とする2校の教員を他の学校に配属でき教員不足も解消でき、学校の維持管理費も削減できる。

・再編成は賛成ですが、子供たちの安全な登下校の手段確保がとても大切だと思います

・通学方法の整備が大切

・松里中学編成の時みたいに地域の声ではなく、現在の子供のいる家庭での意見を重要視してほしい。

地域の声も必要であるかもしれないが、

今後の将来のことを考えて当事者や学校の先生たちの

意見で決めてほしい。地域の勝手なアンケートみたいなものを明確になってないなかでやられてしまい、適当に答える家庭もあった。そうゆうのはやめてもらいたい！！そうゆうのを意識して、こうゆう話題を広めてほしい。

・単純に人数が少ない学校を廃校にするのではなく、利便性、学校設備等総合的に判断した方が良いと思う。

例えば大和を廃校にするとさすがに利便性の面から過疎化を進行させる可能性がある。

・少ない学校同士を統合するという簡単な話ではなく、市全体のバランスを考えてどのように再編するかを検討していただきたいです。

・何かと甲州市の学校再編は決定ありきで説明会などかなり無理なやり方を行っている前例があるので、丁寧に進めた方が良いでしょう。保護者だけでなく同様に近いのを地域住民にも働きかけた方が良いでしょう。

・通学問題が解決できれば考えてもよいが、児童数減少による少人数学級を減らし、費用削減等の目的なら、親の負担増加を考えて学校を減らすのは考え直してほしい。

・小中一貫の学園も良いと思います

・子供の協調性を育んだり、様々な考えがあるということを毎日の生活の中で学んでほしいので必ず再編をしてほしいです。

・運動会や持久走大会での成長は大きい。練習へのモチベーションも含めて活気ある場が必要と感じる。

・特になし

・通学路が安全だと思えないので、通学バスなどを備えていただきたいです

・場所によってはスクールバスになると思うのですが、バス乗り場を学校の校庭等安全な場所にしてほしいです。

また、再編しても各々の学校の特色ある行事を全て残してしまうと保護者として学校に行く回数がむやみに増えてしまうので、そこは吟味した行事にして頂きたいです。

・小学校の振り分けについては、市のルールもあると思いますが、私は市の規定よりも、子ども本人やご家族の希望を優先したほうがよいと思います。

・現時点では特にありません。

・通学路の整備や通学方法も併せて行なって欲しい。

・基本的には再整備には反対ですが、人口の減少に伴いやむを得ないと思います。統合の際は、徒歩で登下校できない地域はスクールバスを必ず配備してほしいです。

・再編整備をした場合の通学方法が心配です。バスなども検討していただけるとありがたいです。

・通学に配慮した再編として欲しい

・デメリットと明記してありますが、デメリットの地域に住んでいるわけではない！！

どんな段階を踏んで再編するのか説明が欲しいです。

・運動会などの行事は子どもの数が増えても活気はでないと思います。むしろ南小でリレーがなくなったり運動会の盛り上がる所がなくなるのはなぜだろう、2種目しか出ない上にみんな同じような格好なので自分の子どもが見つからないと南小の保護者から話を聞きました。少人数の小学校でも運動会などの行事はちゃんと活気があります。授業参観もゆったりと見れるし（南小では廊下で保護者同士のおしゃべりで、）

そういう面では統合は気が進みませんが、上の子が少人数の小中学校生活を過ごしてきて性格もあるかもしれませんが高校で協調性がないと思うことが多々あるため統合もありだなと思いました。

10人弱くらいならば統合しなくてもと思いますが5人以下のクラスでは寂しいかなと、

ただ統合するにあたっての話し合いで決まったことを統合後学校判断でこころろ変えないで欲しいです。塩山中でそのようなことになったと聞いています。

少人数には少人数の、大人数には大人数の良いところがあるので保護者や子どもたちだけでなく現場の先生の意見も絶対必要だしちゃんと話合いたいです。

・頑なに再編に反対する親がいて不愉快です。子供達の未来を考え、必要に応じて再編を進めて下さい。

・教員不足の問題や、維持費の問題など様々な課題がある中で、統合というのはひとつの解決策である事は理解できますが、統合する事により、子供達にかかる負担や、大勢の環境に馴染めない子が不登校になってしまうかもしれないリスクなどの問題もでてくると思います。学校に通うのは子供達なので、一番は子供達が安心して学校生活を送れるよう十分に議論していただき、結論を出してもらえればと思います。決して大人の都合で物事を早急に決めていただきたくないです。

・児童数がある一定程度いる方が子どもの競争心が芽生えたり、遊ぶことへの楽しさも多く感じる事ができるため、学校再編整備は重要案件として早急に取り掛かるべきだと思います。

・人数が少なくなると、ある程度の統合は避けられないと思います。

教師不足もあるので、少ない学校は統合しても仕方ないと考えます。

ただ、登校の面で課題が残るので、学童など検討の必要性があると思います。

・地域ごとで統合していく必要がある事は確かだと思う

・再編については、急いで進めるのではなく、子どもたちや保護者が安心できる準備期間を十分に設けたうえで、段階的に進めてほしいです。

そのため、まずは保護者への丁寧な説明や、通学方法・通学路の安全対策を具体的に示していただきたいです。特に、登下校時の安全面には十分配慮してほしいと考えます。

また、環境の変化による子どもたちの不安も大きいと思うため、学校同士の事前交流など、安心して新しい環境へ移行できる取り組みが必要だと思います。

人数が増えることで先生の目が届きにくくならないか、今の学校の良さが失われないかという点も気になります。子ども一人ひとりに配慮した環境整備をお願いしたいです。

説明や準備期間としては、少なくとも1～2年程度は必要ではないかと考えます。

・再編成することになった場合、学校の位置によっては登校班での登校ができない地区がある。学童の利用はどうなるのか、スクールバスの利用や、役員など課題は多々あるとおもう。よりリアルな声を聞き取ってもらいながら、子供達により良い学びの場が整ってくれることを希望します。

・何でもかんでも再編整備をすれば良いという考え方自体が安易であり、日本の学力低下が著しいと言っている割にはやっていることがチグハグである。日本の子供の学力向上を目指すならば少人数でも問題はなくむしろ、学校単位や学年単位の人数が少ないことは問題ではなく、濃厚な授業が受けやすく、子供や教師にとっても多人数より少人数のほうがメリットはあると思う。

・子どもたちが心身ともに健やかで充実した学校生活が送れるために、学校再編が今すぐに必要なのか答えが出せませんでした。
今後さまざまな意見を聞きながら、子どもたちファーストで検討していただきたいと思います

・再編にあたり、登下校の手段が一番の気がかりです。スクールバスや保護者が送迎をする場合の学校駐車場の整備にもご配慮いただきたいです。

・学校を統合するのは塩山中と塩山北中の統合時に難しい問題だと感じました。
周りの話しを伺うと統合してからでも学校、子供達、保護者での考えの違いや問題点が出てきているのを見聞きします。
これから〇年後に再編されると決まった段階でその世代の子供達、保護者の方の意見を聞いてほしいと思います。

・塩山地区、勝沼地区、その他といった4、5校が1つになり、クラス数を増やす通学はスクールバスを活用する。

・他の自治体でも特色ある教育を取り入れている事例も聞く。減少しているから仕方ないというスタンスではなく、行政とも連携しこれを機にそもそも増加するよう努めることにも期待したい。魅力が多い地域なのに残念でならない。

・通学や学童の運営がどうなるのか教えてほしい

・説明会の開催など、どういう方向で行うのがなど説明と情報提供をこまめにしてくださいただけたらありがたいです。

・デメリットよりメリットの方が多いため。

・中学校編成の時のように急に、1箇所に統合するような対応されても当事者は混乱します。周知が急でしたので、不信感を感じました。魅力を感じたから移住してきたのに残念でした。

小学校から中学校に上がる際の不安が今も大きいです。（大人数に対応できるかなど）北中の吹奏楽や合唱の歴史が途絶えてしまったことも残念でした。

そのように、学校編成は実際に通っている方の心理面や取り巻く歴史を十分に考慮する必要があると思います。

教職員の不足など学校運営には難しい課題もあると思いますが、1番はこどもたちの教育です。どんな教育を甲州市は行いたいのかを明確にするといいと思います。

身延町は過疎地域ですが魅力的なプログラムを作って移住者を呼び込んでいるようです。

編成を考えるにあたり、まずは地域ごとに幾つかの小学校を統合することから検討をされてはいかがでしょうか。

検討には地域住民への周知を細やかにして、皆が納得いく形に進めていきたいです。こどもたちの未来のために、ぜひよろしくお願い致します。

・少人数にも良いところはあるとももちろん理解していますが社会性や行事等を考えると人数が多い方が多くの経験をする事ができると思っています。是非再編整備を検討して欲しい。

・学校再編整備は非常に難しい問題です。塩山中学校のように段階を踏んで児童や生徒に該当する地域住民の家族等に説明が必要だと思います。地元ご老人の意見等の聴取は不必要だと思います。不必要理由は、直接関係するところがないから。県及び市議員の昔ながらなしがらみ等の意見は存在するかもしれませんが、議員等の未来よりこれからを生きる子供たちのことに対して考えるべきである。現在、複式で授業をしている学校に行かせてます。複式学級はメリットデメリットありますが、塩山中学校も複式学級制度があるなら引き続きやってもいいと思うが、中学でやらないのなら複式学級を作らないような小学校合併を要望します。授業以外に通学や学校行事（地域方行事）マラソン大会、有価物回収等の諸問題もあります。また、先生の配置問題も懸念されます。しかし、当の本人からしたら行きたい小学校を選べない上、複式学級採用の小学校の友達環境のみだと中学の友人関係に苦しみ不登校になりやすい生徒が多く出る傾向ではないでしょうか。複式学級制度がない小学校は友達も多いし、小学校と同様な形で中学生生活や友達関係に対応しやすい環境であると思います。その差はいかに埋めていくのか違う問題点でもありますが再編整備に関わるかと思っています。今後未来を担う子供たちの将来性を考えた再編を期待しています。また旧中学校校舎等を活用した統合もいいのではないのでしょうか。

・学校がどこと一緒にになるか分からないが、バス通学とかの所もあるので、大変かもしれないけど、今の状況だと仕方ない事だと思います。

・今、勝沼町内の小学校に通っています。

子供が、通っている学校でも、複式学級をやっている学年があります。低学年だった頃、複式学級をやっている学年がありました。

いずれ、子供が高校生になった頃には、甲州市もしくは、勝沼地区内の小学校は、人数が減ってくるので、授業もできない、状態だと思います。勝沼地区内の学校は、将来的には、一つの学校に集約された方がいいと思います。

・小学校生活では、集団の中で様々なことを学んでほしいと思っているので人数が多いほうがいいと思います。

・再編整備は仕方がないことだと考えます。

子供達が安全に通学出来る環境(バス、タクシー等)を整えて下されると親も安心だと思います。

・特に無し

・児童数が少ないから統合、合併したらどうやって登校するんですか！伝統ある祝小学校をなくしてはいけません！

・再編となった場合、小学校が今より遠方になる可能性があるが全ての児童が安全に登校できるように安全な通学路や場合によってはスクールバス等環境を整備をした上で再編を行ってほしい

・地域から学校がなくなる事は、地域の方々からしてみれば悲しいことですが、時代の流れに沿って再編していくべきなのかなと思います。また資料の通り小規模校のメリットがありますが、いずれ大きな集団の中で生活する子供たちにとって長い間小さな集団で生活していく事はデメリットが多いのではないかと考えます。

・教育のあり方については切磋琢磨することより本人の特性にあった教育が本来の教育のあるべき姿だと思います。北欧などの人口の少ない国においても多くの教員がしっかりと教員自身が高い教育を受けており、少人数での教育がおこなわれています。日本は教育にかけられる費用が先進国の中でも段違いに少なく甲州市においても教員の数を減らしていくような形で教育の劣化を招くことはよいことではないかと思っています。地域を良くしていこうとするのであればぜひとも質のよい教育をおこなうようにしていただきたいと思っています。

・我が家は人数の多い学校に通っているので、想像してアンケートに答えましたが、少人数の学校に通う子供達や保護者、先生方の意見を尊重して進めてほしいと思います。

・児童の人数が減ってきている今、学校再編成を検討していく事は必要だと思います。メリット、デメリットあるとは思いますが、今後の事を考えると集団で学ぶ事は重要になってくると思います。一方で①通学距離が長くなる事②環境の変化など、子どもの負担もあります。統合前から学校同士の交流機会を増やし、子ども達が不安なく新しい環境に馴染めるようにしてほしいと思います。

・PTA活動の先生方や保護者の負担や、子供のクラブ活動を考えると合併も仕方ないかと思いますが…母校が無くなってしまうのも寂しいかなと…複雑な心境です。

・今の学校の教育の仕方正直よく少しわからない

・再編成を行う際は、小学校単位または中学校地区単位(玉宮、神金、大藤を一つ、井尻、松里を一つの地区とする)で説明会を行ってほしい

・再編検討も仕方ないが、家族、子供を増やす取り組みがもっと重要だと思うのですが…。

・子どもたちのことを第一に考えつつ、親世代を中心にできるだけ幅広い意見を聴きながら進めていただきたいと思っています。小学校は地域との密着度合いが高いので、配慮や考慮が必要だと思います。よろしくお願いいたします。

・地元住人の意向よりも、子供達の未来のために学校再編は必要だと思います。

・保護者、現場に立っている現役教員の意見を優先し意見を取りまとめていただけたら嬉しいと強く感じます。

・複式においては教員数減少、授業内容の煩雑化、それに伴い教員の負担増加が予想される。児童や保護者間のトラブルに対してクラスを分ける物理的な解消という手だてが取れるというメリット。多人数でのコミュニケーションで得られる見地、また修学旅行等での金銭的負担など、再編整備に於いてのメリットが多いと考える。

・子供の数が少ないので再編はやむを得ないと思います。人数が少ないと切磋琢磨できないし、運動会や修学旅行と言った行事も楽しいものになりづらい気がするのです。

・早急に再編整備を進めていただきたいと考えています。
いささか人数が少なすぎて、考えや意見にも限りが出てしまうと思います。
教育ということを考えると、やはり多様な意見や競争の中で学べることを希望します。
また、教職員不足の解消にも繋がるのではないかと思います。
協議にあたっては、是非、保護者と子供たちの意見を最優先に考えていただきたいです。
これは切に願います。
地域の意見は参考程度で良いと思います。
松里中学校のようにして欲しくありません。
地域のための学校ではなく、子供たちのための学校です。
残して欲しいという意見の方に限って、子世代孫世代はUターンしていません。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

・少ない人数だと多少わがままでも許されることが多いが、中学になると人数が多くなりそうはいかなくなりギャップが生まれる。不登校へとつながりやすい気がする。そうならないためにもある程度の人数はあっていいと思う。
・できるだけ少人数での学級編成を希望します。
・今の少人数クラスでも児童一人一人ちゃんとみていられているか疑問のところもあるが再編して人数が多くなり大丈夫なのかという不安もある
・特になし
・今後の変化を見守りたいと思います。
・少人数の環境で、保育園からの固定された人間関係の中で生活し続ける難しさを痛感しています。
保護者としては、たくさん子どもたちの中で、多様な考えに触れながら、一人ひとりがのびのびと、自分らしさを大切に生活できることが理想です。
学校が減ることで地域としての活性化がますます難しくなることも理解できますが、これからの子どもたちのために、地域の方々にもご理解をいただき、甲州市だからできる教育を進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。
・校舎の老朽化等、人口減少で昔ほど教室数も不要、いろいろなことも踏まえて、新しい校舎で合併して運営して欲しい。

・子供の成熟度、留守番の有無、社会性の拡大など、子供の成長、教育、理解度において中学校の統廃合は行政コストに合わせたも問題は無いと考える。

一方で小学校は地域での見守り、子供の保護に対する保護者視点での安心感、通学をバスなどにする事による子供の地域を知る機会の減少、例を挙げればキリがないが、子供の成長環境を盾にした通り一辺倒の行政コストの見直しはすべきではない。
中学校の統廃合と小学校の統廃合では問題要因が全く異なり、その要素も複合的である。

小学校の統廃合は慎重に慎重を重ねるべきである。

ちなみに当方は移住者であるが、小学校と居住地の距離感は重要ポイントである。
つまり、小学校のない地域は子育て世代の移住などは大幅に見込めなくなる事は理解した方が良いでしょう。

・再編のメリット、デメリットを提示した上で、地域ごとに保護者だけでなく地域の住人にも加わっていただき意見交換を丁寧に進めて欲しい。その際には再編を行った地域がどうなったかの情報を良い部分も悪い部分も含めて教えて欲しい。
・慎重に進めるべき。
・小規模である事で学習面や学校と家庭の連携の取り方などの良い点は感じています。一方で友達関係に逃げ場が無かったり、中学校高校になり人数が急激に増えることで友達関係、学習面でのギャップで悩む事もあると思います。

・少人数だからといって、自由にのびのびとさせてもらえるかと思いきや、先生によっては目が届きすぎて厳しく軍隊みたいな指導をしていて、少人数の良さを感じられない時が多々ありますが、それでも少人数だからこそのメリットの方が明らかに多いです。マンモスとなると、どうしても先生が軍隊のように子供たちを指導しがちです。塩山中学はまさにその典型で、先生や教育委員会の指導が軍隊のようでいつも誰かしらキレてると評判が悪すぎて、これから子どもが中学に入る親同士では、悪い噂、心配、不安があとをたちません。

大人が子どもを押さえつけていて個性や自由がなさすぎるようです。

私は噂でしか知りませんが、子どもに不登校になってほしくはありません。

親の意見も大事ですが子ども達の意見をもっと聞いてみたらいかがでしょうか？

・再編するとしても、大人数になり過ぎて

生徒ひとりひとりに目が行き届かないという事がない様に先生方の配置をお願いします。

・担任の先生1人ではなく2、3人の先生を配置して勉強の進み具合を見て出来ない事や苦手な教科を親に教えてほしい。またピアノ、絵の具、習字道具などなかなか捨てられないので寄付を集うかして学校に置いてみんなで使えるようにしてもらいたい。子供達が持ち帰る大変さや生活困窮家庭の事を考えてほしい。

・実際に少人数の学校から卒業した子達が中学校に進学した時に少人数だから困った事があったのか、それとも特に問題なかったのか、機会があればその子達の意見も聞かせて貰えると嬉しい。

・私達の頃はクラス替えがありました。今はクラス替えが出来ない学校がほとんど。やはり子供達にも嫌いな子や苦手な子、意地悪の子など様々居ると思う。なので、クラス替えがないと、6年間、ずっとこれを我慢しなければならない。クラスの雰囲気が変わらない。逃げ場がない。クラス替えがあるから救われる事も多いと思う。また新たな気持ちで頑張れる。子供達にももっと選択肢を与えてあげて下さい。逃げ場は必要です。よろしくお願いします。

・スクールバス、スクールタクシーをお願いします。

・再編すると通学距離が長くなってしまいう児童も出ると思います。場所によっては車通りが多いところを通らざるを得ないこともあると思いますし、多くのご家庭が両親共働き・核家族で毎日通学に付き添うのは難しいと思います。安全面が心配です。再編の際は、特に通学距離が長くなってしまいう地域の児童の為に学校でスクールバスを出すなど通学の安全面も考慮していただけるとありがたいです。

・あまりにも人数が多いことが良いことだとは思わないが、1クラス10人くらいいたら、先生方の手厚さも保ちながら集団の良さも出るのではないだろうか。

大藤、神金、玉宮が一緒になったら、子供達も集団での行動やふれあいの機会が増えて、中学や社会での関係性などに良い影響が出るのではと思っている。また、スクールバスなどを利用して登下校も良いと思う。

・今年入学しましたが先生が目が行き届く少人数学級のありがたさを感じております。少人数学級に慣れたままいきなり大人数の学級になると子供達への変化の負担が大きいと思いますので段階的に編成を行う必要があると思います。

・学校再編も必要だけど、人口を増やす努力が全然みられないので、若い世帯を増やす努力をしてほしい。

・娘がなかよし学級に通っています。建物や環境、先生方、その他が変わるのはすごくストレスになるのでそのままを希望します。

・GIGAを進める学校、進めない学校、自然を大切にする、少人数制など、甲州市内でそれぞれ特色を出して、基本は学区、希望があれば市内ならどこでも選べると思う

・いつも大変お世話になっております。

我が子の通う南小では、クラス替えができる人数規模であり、多くのお友達と学ぶことができています。また、先生方の人数も多いため、多くの目で見守られながら過ごすことができており、ありがたく感じております。

一方、小規模といわれる学校においては、地域と密接に関わりながらご指導いただいていると聞いていますが、人間関係が固定化される、PTAの負担が大きい、などの話も伺っています。さらに、小規模校では先生方の数も限られているため、お一人お一人の業務負担が大きく、出張などで授業準備にかけられる時間も少ないと聞いています。

私自身も小規模校で育ち、その良さを感じてきているところではありますが、現代の様々な課題に対応し、よりよい教育環境を子供たちに提供していただくには、段階的にある程度の規模を形作っていく必要があると感じます。

よろしくお願いいたします。

・教師の数も減少しているかと思うので、なるべく早く統廃合を行って集約させるとよいと思う

・特にありません

・地元の区長等高齢者の意見ではなく、今後の甲州市を担っていく子育て世代の意見をよく汲んで進めてほしい

・子供が安全に通えて、保護者が仕事ができる環境づくりを考えた上で再編が必要

・再編によって先生の数に余裕が出来たら、外で遊ぶ時間を増やして欲しい。また、再編により遠くなってしまう場合は、スクールバスを検討してほしい。

・学校によって維持されていると思われる地域の特色は学校教育に依存するのではなく社会教育として分けて考えるべき。よって単純に子供と保護者の問題として早急に取り組むべき課題である。

・もし再編をするならば、地域への説明や同意も必要かもしれませんが、まずは児童と保護者を一番に考えて進めて頂きたい。

・通学距離が遠くなる所があると思うのでバスやデマンドバスを使えるようにするなど、親の負担が今までと変わらない対応をしていただけるとありがたい。

・小学校は地域に根ざしているので安易な再編には反対です。

・小学校がなくなると地域の拠点がなくなり、地域が衰退し、人口減少がさらに加速するのではないかと。学校再編により小学校がなくなるとその地域がどうなるかということも慎重に考えなければならないと思う。

・クラス替えがなく6年間ずっと一緒となると、いじめなどを受けた子も6年間我慢しなくてはならないのが現状です。合併などでクラス替えができることで、そういった子どもの精神的なケアにも繋がると思います。

・再編は全て一つの学校に集約するのか、その場合通学等の送迎は遠い家庭の場合どうする予定なのか？

・登校の際に距離の問題で送り迎えが必要になった場合親への負担は少なくしてほしい

・小学校を再編してしまうと、その地域に住む特に若い世代の住民が少なくなる可能性が高いので、必要ない。

・スクールバスの拡充により、児童の登下校の利便性を確保するべきとは思いますが。

また、市内の中学校の制服等について見直し、刷新を図ることを求めます。

過疎地と判断される地域に住み続ける児童や保護者へ、他地域と比べわかりやすいメリットを提示していただきたいです。

・オンラインで他校と交流や、学習について合同でできる部分があれば導入を検討。小規模校は、子供の精神面のサポートが不十分に感じる部分が多いのでしっかりと目を向けてほしい。少人数だから目が行き届いているとは思いません。人材不足があるのかもしれませんが、専門的な先生の配属は必須だと思います。小さな学校に通う子どもにもしっかりと人権があります。蔑ろにされては困ります。一人一人の人間としての土台を作る大切な期間だと思います。

・一学年二クラス以上あり、クラス替えができる位が一番の理想だと思う。

最低一学年20人位はいた方がいいと思う。

大和小学校の生徒が勝沼中学校に通っているように、スクールタクシーを準備してでも人数が少ない小学校は統合していくべきだと思う。

・学校再編整備は、将来的には必要なことだと感じています。児童数の減少は子どもたちの教育環境にとって良い面もあると思いますが、人数が極端に少なくなると、デメリットの方が大きくなるのではないかと考えます。

一方で、地域から小学校がなくなることは、地域の活力や存続にも大きく関わる問題だと思います。

非常に難しい課題ではありますが、子どもたちの教育環境と地域の将来の両方を見据えながら、最善の方法を選択できるよう十分に検討を重ねていただきたいです。

・通学バスなど

・学校を再編した際に、遠隔地からの通学はスクールバスが必要となると思いますが、小中学校ともに市内を巡回する市バスを有効利用出来るよう、ダイヤやルートを考えて欲しいと思います。

・先生が目が届きやすい少数人数での良さもありますが、少なすぎると同学年との交流がなく寂しさがあります。中学生になっていきなり大人数になると、人見知りの子や人間関係などむずかしい年頃になるので馴染めるのか、少人数の学校なので心配になります。ある程度の人数での学校生活で人間関係に刺激を受けた方が良いように感じます。

・少人数での学習のメリットもあると思いますが、中学校で急に大人数での学習になるよりも、今のうちから子どもにも大人数での生活に慣れていって欲しいと思います。

・不登校が問題しされている中、甲州市全ての子供が平等と考えているのであれば、大きな学校で学ぶ事も大切かもしれませんが、小規模で1人1人に寄り添い通える学校を残して欲しい。また緑溢れる中で子供達は自然も大切に、生き物、山々も大切にできる子供の方が大切だと思う。今の子供だけではなく、未来の子供達のためにも必要だと思う。体験談だからです!!

・小学校がなくなることによってその地域には新しく家庭が戻ることがなくなり、地域は衰退していくと思います。ただ少人数だと集団性が養われなかったり、大きな集団に入るときに問題が起こるかもしれません。小学校を合併させるより、学校交流の場を増やすことを先行させたらいいのかな？と思います。今は数ヶ月に一度ですがその割合を増やしていく。時間割の関係で大変だと思いますが、午後は体育や音楽で他の学校の学年と合同で行う。(スクールバス等がないと難しいと思いますが、行政の力を借りて)

複式学級についても、先生が中学校のように教科ごと変わることによって子どもの様子が把握できているのか疑問に感じるが多々あります。子どもたちも先生との信頼関係が出来ているのか疑問に思います。複式解消の先生が入ってくれるのはありがたいことだと思います。その先生が学級運営をするのは難しくても、副担任としてもしくは主要科目を担当して頂けると学校での様子が分かりやすいかなと思います。

学校の仕組みなど難しいこともあるかと思いますが、甲州市が果樹王国として今後もいるためには地域に戻ってきやすい環境を整えることも大切ではないでしょうか。

・地域のOBOGのしがらみの無い生徒の為の再編計画を願いたいですね。

・メリットデメリットはつきものだと思いますが、一番は子供たち自身の教育活動のことを考えて行くべきだと思います。

・小さい小学校の子達は、小さな集団で過ごしてきたからか、小さな地域でまとまるメリットもあるが、外部を受け入れる寛容的な人間力育たないデメリットでもある。多様性に触れる環境、受容的な集団生活を送れる環境を創るべき。統合して、個別、小集団、大集団と教育カリキュラムも幅を広げていかないと、将来を担う子ども達の人間力は上がらないと思います。勉強ばかりが進んで、対人関係が育ってない。また、運動会等のイベントの活性化、教員の配置人数にも大きく関わると思います。学校再編整備をきちんと行うことで子どもが集まる、教員も補充できる。多様な取り組みができ、子ども達の経験につながると思います。また、中学のように遠方へのバス送迎があれば、登下校の安全確保や運転手の雇用など、社会的背景にもメリットは出てくるのではないのでしょうか。

・少子化での統合は仕方ない事ではありますが、それぞれの通学距離や距離が長くなる上に子供が1人で下校しなくてはならない不安もあります。学童の金額一部免除など、色々検討要素はあり、簡単に賛成は出来ない面が出てくると思います

・学校への思い入れがそれぞれあり、統合は寂しくも感じますが、少子化が急激に進んでいることから仕方がないと思います。

・特にない

・塩山北中は閉校となったが、体育館設備は新しくすばらしいので有効に活用していけると良いと思う。塩山南小の体育館はスポ少の利用で夏場は夜に窓を開けるので虫が入りやすく、網戸を設置して頂けるとありがたい。

・ぜひ、早く対応してほしい。

少人数で刺激が少ないと感じているため。

・松里地区は中学校再編において塩中との統合が一旦取りやめとなった経緯があったが、その事についてよかった点や課題点などの振り返りをぜひ地域や家庭にも共有していただきたい。そして小学校の再編整備の議論に生かしてほしい。

・持続可能な社会にしていくためには、活力ある学校が必要。少人数では子供が多様性社会で育たない考える。また、少人数の学校では教員数も少なく、教員の多忙化や教員が切磋琢磨できないため、いろいろな対応が不可能になる。卒業生が自分の卒業した学校がなくなるのは嫌だと駄々をこねるのは論外で未来にはばたく子供たちやより良い教育環境の整備を考えていない故の意見であるとする。人口減少が急速に進んでいるので、学校再編は喫緊の課題であり、すぐにでも取組んでいただきたいと考える。

そして、県内でも人口が偏っていることを鑑みて、甲州市も魅力ある市をつくらなければならないのではないかと。これを機に教育に力を入れた学校再編を考えていただければ、子どもたちは育ち、魅力ある市になるという一石二鳥にもなると思う。山梨市に先を越されたが、南アルプス市のような義務教育学校や身延中学校のような中高連携などの再編をのぞみ、高い教育水準となることが、理想と考える。

必要ないとしたが児童数がとても少ない学校から対応していったらよいと思う。ただ登下校については家庭の負担を極力無しにしてあげてほしい。

少子化に伴いやむ合えないと感じます

中学校もすでに始めてるので

・問題状況は理解できますが、そもそもの質問の仕方が問題状況に対する議論として妥当なのかと疑問を持ちました。なぜなら、全小学校で再編が必要かという範囲の問題と段階的に再編が必要かという時期の問題は択一的、並列的な議論ではないと思うからです。通学の点では徒歩で通える学校が望ましく（仕事をしていると毎日送っていけない）、集団活動の点では人数が多い方が良い（統合が望ましい）。これら両者を調整する仕組みを検討するのが、実情に合っているのではと思います。例えば、体育等の頭数が必要な授業は市営のスクールバスを活用して複数校が集合して行う、リモートが活用できる国語、算数、理科、社会、道徳、音楽等の授業は最大限活用する等違う視点からの議論もあろうかと思います。

・OBや地域の声をメインに聞くのではなく、実際に学校へ通っている子供や保護者の声を最優先に聞いてほしいです。

・人口動態が劇的に改善することはないと思うので、再編は不可避だと思います。その際は、諸々のエネルギーが必要と思うので遠方への通学になる児童への配慮を十分に行った上で一気に再編した方が良くと思います。

・メリットよりもデメリットの方が多い印象を受けました。少子化なのはしかたがないけど、施設面でも財政面でも維持管理費を効率化することや、子どものクラス替えができるようになること、友達や人間関係の選択肢が増えること、グループ学習や部活動が活発になる方が大人になる過程において必要なことだと思う。教員不足も解消されるし、統廃合した方がメリットは大きいと思う。現に山城小のようなマンモス校を見ているとイジメというイジメをあまり見たことがなく一緒にクラスにならないで6年間を過ごす子どもも多い。幼少期～思春期までの大事な時期に多くの人と意見を交換し合うほうが思考の選択肢が増える気もする。人数が少なく狭い世界しか知らない子どもや学校に行くのが抵抗がある子も人数が増えることで多様性を学び学校に行きやすくなるのではないかと期待もしている。

・小規模小学校から中学に入ると、急に人が増えることに順応できず、不登校になる。

早い段階で人数になれば、社会性を、養っていく必要がある。

・分校として週に2回など本校と合流するなど、小さい学校もいいですが団体行動などもできようになってほしいので交流を今から多く増やすのもいいかと思います。

・意見聴取は基本的に当事者のみ（学校教職員、関係機関、在校生、在校生保護者のみ）で行うことが望ましいと考えます。どのような決断に至っても、全員が納得することはあり得ません。更に思い出や感傷的な意見を取り入れてしまうと、再編成の本質からズレた議論になる恐れが高くなる恐れがあるからです。編成に伴う在校生と保護者の負担に対し、どれだけケアが行き届くか。これの検討に労力を集中するべきだと考えます。

・それぞれの地区において小学校の果たす役割はたくさんあると思います。勉強を始め集団生活をまなぶことはもちろんですが、地域の繋がりにおける役割も重要に感じています。実際に子育て世代の移住者の方々から小学校に魅力を感じるとの話も少なからず聞いています。そのような地域の魅力を損なうことなく再編整備については慎重な議論を行っていただきたいと考えています。

・複式学級が存在する児童の少ない学校から減らして行って、統合していけばいい。

・小規模の学校はみんなも仲良く、先生方の目も届きいじめや不登校などの問題がありません。

不登校や行きたくてもいじめで学校に行けない子達の選択肢にするなりすぐに再編などというのではなく、活用方法は色々あると思います

・地域住民と子ども、保護者で必ずしも要望が同じではないので慎重に見当していく必要がある。また実際に通う、またはこれから通う子どもや保護者のニーズを把握した上で進めていくのがよいと思う。

・どの学校にも屋外と屋内には防犯カメラの設置を強く求めます。
いじめ防止を学校及び、市の方でも取り組んでいると示してほしいです。

2年前に子供がいじめを受けました。

当時の担任の先生と嫌がらせをした子ども達と話し合っ解決をしたそうなのですが。

去年、同じ子ども達からまた悪口などを言われて、学校に行きたくないと言って、お休みを度々するようになり、学校に問い合わせました。

当時担当していた担任からは回答は得られず、教頭先生が対応していただきました。

教頭先生が一部の子ども達に様子を聞いてもらいましたが、分からないと回答をされ、いじめはないものだと結論付けられました。

ですが、防犯カメラなどで2年前の話し合いの様子などが分かれば、話し合いをした後も、しつこく嫌がらせを受けているものだという証拠になったと考えます。

結果的に弱い立場は、子供の時から我慢を強いられてなかったことにされるものだというのを、この年になっても学ぶ機会になりました。

このようなところで言うことでないことは重々理解しているところですが。

学校が再編されて、人数が増えると必ずいじめが発生すると思っています。

家の子みたいに嫌な思いをする子が少しでも解決に繋がるきっかけがカメラの設置かと考えます。

大人は自分で職場を変えられますが、子供にはそれが出来ません。

極論かも知れませんが、子供を守るという観点からも、改めて防犯カメラの設置は義務であってほしいと思います。

・塩山地区であれば今の、塩山中と松里中の2校の存在はバランスが取れていて良いと感じる。なぜなら、大勢の中で過ごすことを苦手とする子どもは松里中のような少数で編成される学校を選択できるから。不登校の子ども、発達に不安がある子どもにとっては少数編成学校の存在は大きい。親も選択の余地があるから。小学校も、前年度の秋までに学校を選べるようにして、子どもに合った多様化した編成ができるような整備をされるのはどうか。南小と北小と奥野田を合併、大藤神金玉宮を合併、松里井尻合併の3校にして、行きたい学校を選べた方が良いかと。

中学は現行の2校で良いかと思います。

・通学手段の確保はしっかりして欲しい

生徒のバランスを考えて欲しい

・地域住民の要望も大切ですが、現在及び近い将来、市内（学区内）で子育てをする家庭の要望を重要視していただきたいです。また、対象家庭が変化していきますので、毎年度、調査していただくこともご検討いただけると幸いです（各学区内の思いが引き継がれると良いと思います）。

・自分の子どもが通っている（通っていた）学校は残したいと思う親が多いと思うので、地域通しでの反発は免れなさそう。廃校になる学校校舎の利活用も並行して検討した方が良いと思う。

・①生徒数が多くなると各家庭の負担が増えるとのことでしたが、生徒数が少ない小学校の保護者からの意見としては、逆に少なくなると思います。現状、生徒数が少ない小学校は、PTAなどの役回りを、何回も行っている家庭が多々あります。中学校に行くと、学区ごとに年廻りでPTA選出しなければならず、生徒数が多い小学校の家庭は、一度もPTAをやらないまま中学卒業まで至る家庭が多数あり、大変不公平感があります。納得できません。

②限られた税収の中で、各学校を現状のまま維持し続けられるのか、学校数を少なくすることでその維持に充てる税金をより良い教育に充当することができるのか、試算したデータをいただきたいです。メリット・デメリットがはっきりとわからないまま、学校再編の議論はできません。市民との話し合いの場を設けてもらっても構いませんので、税金を有効活用できるように、学校再編の提案をしていただきたいです。

- ・学校再編で生じる通学手段はどうなるのかきちんとしてほしい
- ・とくにない

・現状、わが家の子供は少人数の学校に通っています（いました）が、基本的にメリットばかりの印象です。

ただ、これ以上少人数になってしまうとどうなのかな？とも思います。

共働きの家庭がほとんどなので、児童クラブなどの整備や登下校の方法も併せてしっかり検討していただきたいです。

画一的にどの学校も同じくらいの人数で…という再編の方法ではなく、大人数の学校も少人数の学校も存在していて、もっと自由に学校が選べるのも良いかもしれません。

わが家にはまだ未就学児もおり、全くもって他人事ではないので、なるべく情報をたくさん発信して頂けると嬉しいです。

大切な子供達のために、何卒よろしくお願いいたします。

・勝沼町および大和町は、勝沼中学校と同様に勝沼小学校に合併した方が良いかと思っています。

・松里地区に住んでいますが、今後の中学校問題がどうなるのか気になります。今後の方針を示して欲しいです。

・家から遠くなると少し不安がある

・少子化が進む中、再編は避けられないが急激に実施せず段階的に行うべき。

・特になし

・仕方ないと思います

・少子化の影響で児童数の少ない地域では学校の統廃合は避けては通れない道だと考えます。しかしながら、小規模校に有利な面があるのも事実です。地域や子供達にとって何が最善なのか、慎重に進めていく必要があると思います。

・甲州市内の公立の保育園統合の話もあり様々なものが縮小傾向にしているが、今後の子どもたちの幸せを考えるのであれば、なんでもかんでも縮小傾向にするのは立ち止まるべきだと思う。

都会から移住してきた人の話では、少人数の良さもあり、大人数の学校では不登校だった子どもが、少人数の学校では行けるようになったという話も聞く。不妊治療の積極的な取り組みもあるが、その弊害として双子が増えたり、発達障害傾向の子や、学校になじめない子も増えているところを見ると、そういった子が受け入れられるような学校として、残すべきものは残す必要があると思う。減らすばかりだと、この地域は子ども受け入れるつもりがないのでは、という移住希望者の印象へ与えかねない。

小学生の時から、
・多種多様な考え方
・様々な人間がいる

ことを知るのには、大事だと思っているので、学校再編には賛成です。

その中で、集団生活に馴染めない子等のフォローも、別枠で考えていければ、子供たちが安心して成長できるような気がします。

・人数が少なすぎると学校行事など寂しい。甲州市全体で再編より、勝沼は勝沼町で再編などが良い

・これまでのずっとと黒板に向き合って受ける授業ではなく、これからは子どもや先生たちの対話が大切だと思います。

自分の意見を考え人に伝える…少人数ではこのような授業が難しくなると思うので私は再編整備を積極的に進めた方がいいと思います。

・合わせるにしても子供が歩いて通学出来る範囲が望ましい

・個人的には、親の意見よりも先生方や生徒達の意見が聞きたいです。

・塩山南小(と立地的に勝沼小)のみ存続させるという結論になるのは悲しいです。

学校のない地域には若い方は定着しにくいと思います。

生徒数が激減してしまった松里中、塩山高の将来も含め再編ありきでなく、他地域から教育移住が増えるような甲州市になればと思います。近隣(山梨市なら笛川学園等)も参考に

・大和小は児童が少ないからと言ってすぐ統合してしまえば、住む人が居なくなるのは確実だと思う。

帰郷を考えている若い人も、小学校がないとなれば大和には住まなくなると思う。

大和の場合は、児童が少なくても小学校があるのなら大和に住もうという人がいます。

西野原団地もそう言った小学生のいる居住者が来ているので。

児童や先生のみとの事と、地域の事と同時に考えるのは大変なので慎重に考えたい。

・一概にどちらとは言えませんが、学校再編が決まればそれに従うしかありません。

現状を変えたくないのもありますが、子供へのメリットが多いのであれば、前向きに検討も考えていきたいです。

・やるなら全ての学校の再編整備を希望します。また、単に小規模校だけくっつけるような再編は希望しません。再編の過渡期にあたる子どもたちは色々と不利が生じる可能性があります。塩山南小も再編し、全ての児童を平等に再編対象にしていきたいと思います。

・小規模学校にメリットがあり、それを望んでいる人もいるというのは分かるが、2学級以上でクラス替えのできる学校体制が、中学校以降の生活を見据えると、子どもたちにとって望ましいと思います。

・上の子が南小学校ですが、下の兄弟は井尻になりそうです。1番下は学年2人、、、

その後中学に上がる時大人数になった時の差がイジメに

繋がったり、今後の社会生活に必要なスキルが小学校のうちに身につけておきたいから統合してほしい。切実に。来年新一年にもなる子もいるので、毎日悩み悩んでます。

・教員を数多く配置し、きめ細やかに指導してほしいです。

・早く実施すべき

・少ない人数で6年間過ごすよりも、様々な人にふれ切磋琢磨してほしいです。

・学校関係者や保護者、市民が主体となって考えていきたい。